

産技連分析分科会平成22年度第三回運営委員会議事メモ

日時：2010年11月24日（水） 16:00～18:00

場所：メルパルク岡山 末広

出席者：尾形正岐・宮島茂（山梨県）、小畑芳明（和歌山）、村岡賢他2名（岡山）、永岡昭二（熊本）、大橋芳明（名古屋）、上本道久（東京）、南秀明（京都）、隅田隆（高知）、工藤素（秋田）、衣笠晋一・前田恒昭・福本夏生・一石節子・松本信洋（産総研）

会議に先立って、自己紹介が行われた。

司会：衣笠晋一 分析分科会運営委員会委員長

1. 前回議事録確認

特に各委員からのコメントはなかった。

2. 年会の最終確認

衣笠委員長から、主に前回の運営委員会で決定した事の確認の依頼があった。

- ・開会2、3分前に村岡委員より、同封されているパンフレット類の紹介をする。（東京都のパンフレットなど）
- ・プログラム2番「分析技術討論会」において、「1 講演20分」は講演・質疑応答すべて込みで20分という意味。講演時間・質疑応答時間は決めていなかったが、講演時間を15分としたい。予鈴用チャイムは急遽岡山県で用意。
- ・昼食はホテル側が会場に持参。
- ・午後の共同研究討論会は、今年は1会場。昨年よりも時間少ないので要領良い議事進行が必要。話の順序。時間配分の変更の確認。
- ・製本された年会資料のプログラム4番「分析技術共同研究検討会・材料評価」では、埼玉県鈴木氏の名前が入っていなかったが、追加する。
- ・プログラム6番「参加証及び認定証の手交」について。参加証と認定証の二種類。北海道の若杉氏に受け取って頂く事に決定。当日受付で出席の確認と名前の読み方の確認をする。
- ・プログラム7番「その他（2）」は次期開催県である熊本県所長が担当。
- ・プログラム7番「その他（3）」は熊本県永岡委員が担当。
- ・プログラム7番「その他（4）」は年会終了後から交流会までの説明（写真撮影等）及び翌日の総会開始時刻・会場の説明。事務局（松本）担当。予め何を話すか事前に確認する。その後、村岡委員が見学会の説明。福本委員が NMIJ 計量研修センター主催の研修案内を

する事になった。

- ・写真撮影（4列。前に座る方を予め決めておく（6名、田中部会長、西田所長、宮島所長、衣笠委員長、坂井所長、臼井教授がセンターに座る）。その他、運営委員も前に座る（事務局以外）。センターは開催県等の所長が座る。）
- ・プログラム8番「閉会の挨拶」は千葉副部門長の代理で衣笠委員長が挨拶。
- ・交流会進行は、例年開催県が行う（村岡委員）。

3. 次年度以降の計画について

- ・永岡委員から23年度分析分科会分析技術共同研究について、資料に基づいて、研究試料の概要と今後のスケジュール等について説明があった。予定会場であるKKR熊本のパンフレットも回覧された。

4. その他

- ・年会資料の追加（フローチャート抜け落ち分）。
- ・部会総会の司会は衣笠委員長。
- ・AZ91D相当品の分析値について、村岡委員から資料に基づいて説明があった。特に、Al濃度の予備分析値とメーカー分析値、共同分析値、および最近の岡山県分析値間の差について、話があった。
- ・年会資料の共同研究（無機分析）の内容について各委員による確認が行われた。
- ・年会資料の共同研究（材料評価）の内容について福本氏より説明があった。
- ・上本委員の後任について現在検討中。3年後開催県が東京であるため、埼玉・千葉・神奈川県公設試所属で無機分析に強い現役の方を選任するのが望ましいと考えている（委員長）。

以上